




秋田公立美術大学
複合芸術会議シンポジウム
「人形道祖神と鹿島行事」

トークセッション「新屋と鹿嶋祭」

令和7年1月24日(金)
秋田公立美術大学 大講義室



★自己紹介★

- ・ 高 橋 伸
- ・ 新屋鹿嶋祭保存会 理事
- ・ 上表町町内会長
- ・ 秋美ネット 個人会員

*難聴のため. . .



上表町・高橋伸氏



新屋鹿嶋祭 3歳 1948年(昭和23年)6月6日



★新屋町の歴史 - 1★



- ・元々の町は、今の秋田C・C付近にあった。
- ・平安時代の天長(830年)年間に大地震があって埋没し、今の地に移った。
- ・江戸時代は、宿場町として栄えた。
- ・明治～大正時代には、製造業が盛んで、酒造・味噌・醤油・養蚕・白玉粉・うどん・塩汁などが造られた。

★新屋町の歴史 - 2★

- ・洪水対策として、雄物川放水路が昭和13年に完成。

昭和13年4月、2ヶ年の歳月をかけ、
伏願の放水路に通水



昭和13年4月27日通水場での瞬間(写真提供 カドヤ写真館)

- ・昭和16年に秋田市に合併した。

★新屋鹿嶋祭保存会の歴史 - 1★

- ・ 20の町内会と栗田支援学校が参加して、平成23年11月に設立。
- ・ 平成28年3月に、念願の秋田市無形民俗文化財となる。
- ・ 平成29年、新政跡地活用推進協議会より鹿嶋船大集合を引き継ぐ。

★新屋鹿嶋祭保存会の歴史 - 2★



- ・ コロナ禍の3年間の中止を経て、令和5年に復活。
- ・ 今年で14年目となる。

★新屋鹿嶋祭保存会の精神★

◇文化財愛護精神に基づき、新屋の伝統行事である新屋鹿嶋祭の調査研究、保存顕彰並びに継承者の育成を目的とし、永く正しくこれを後世に伝承することを目的とする。

★新屋鹿嶋祭の由来★

新屋の鹿嶋祭りは、豊作を祈る鹿嶋信仰に由来し、古くは、さなぶりの時に行われていたが、やがて端午の節句に、近年は6月第2日曜に、全町挙げて子供の成長を祈る伝統行事である。

子供らの無病息災を託した鹿嶋人形を乗せた各町内の鹿嶋船は、笛や太鼓の囃子と共に、鹿嶋唄を口ずさむ子供と沿者の手に曳かれ日吉神社で祓えを修し、全町内を練り歩いたのち雄物川に流され、子供らは清く、明るく、逞しく、その心身を更新する。

鹿嶋祭りは、神と人、親と子の心の絆を結ぶ、かけがいのない新屋町の文化的遺産である。

★当番町と保存会の関係★

- ・ 20年に一度くらい、当番町が巡ってくる。
- ・ ところが、毎年の課題がそのままとなっていた。
- ・ 保存会が出来て、纏める様になった。
- ・ 秋田市無形民俗文化財を受け継ぎのきっかけとなった。



★中川人形と鹿嶋人形★

- ・昭和の時代には、中川氏が作る鹿嶋人形が店頭で売られていた。
- ・昔から自作する風習があったのだが、買って済ますことが多かった。
- ・高齢のため中川氏が作らなくなり、自作の風習に戻るのに、困難を極めた。
- ・首(頭)だけは、八橋人形の工房で造られている。

中川人形(左)と 鹿嶋人形(右)



★上表町の主なスケジュール★

☞スケジュール表へ

☞ [リンク](#)

☞私のHPへ

☞ [リンク](#)





★ 次の質問をどうぞ！！ ★

★昔と今★

③・家庭での一連の行事や麦踏みなどの風習が、全て簡略化された。



★ 鹿嶋流しなのに ★

- ☞ ・ 祭典行事なのに、不法投棄と誤解されて、流し憎くなった。
- ☞ ・ 今まで通り流す町内もあれば、一旦流して子供達の居ないところで回収する町内もある。大部分がお祓い後、ゴミとして処分している。



★鹿嶋船製作 美大生協力隊を編成★

- ・各町内の希望を取って、約20名以上の協力隊を派遣している。その後、町内によっては、夏祭りなどの町内行事に呼んだりしている。



★ 将来展望と課題 ★

- ☞ ・ 伝統を継承しながら、県の無形民俗文化財指定を目指している。
- ☞ ・ 「次世代への確実な継承」「地域との絆の強化」「鹿嶋祭の文化的・観光的価値の向上」などが考えられます。
- ☞ ・ 「ガジギの減少」「鹿嶋人形の製作」など課題もありましたが、各町内会の自主的な活動を尊重し、新屋の鹿嶋祭は実施されています。



★静聴有り難う御座いました。

★新屋にも道祖神があった★



・新屋比内町
・石野 弘 (故人)

新屋にあった カシマサマの考察



のものなど酷似しており、一対二面のものもあるという。いわゆる新屋町で現在行なわれている「鹿嶋祭り」とは別に、町外れ愛宕町の一面に、厄病神を追い払うため藁で作られた高さ二・三メートルもある大きなカシマサマがあった。その顔面には地蔵堂にある異形な仁王面があてられていた筈である。

さて、新屋にその後大異変が起きた。疫病神（伝染病）はカシマサマが見張る道を通らず海上からやって来た。

明治十二年頃のこと、ある漁師達が沖合で魚をとっていたら、付近を通りかかった高船から一個の死体を埋葬してくれるよう依頼があった。いくらかの礼金に目の眩んだ漁師達は、その死因の何んであるかも聞かずに、喜びいそいで浜辺に引き上げ、今の旧射的場（勝平地区）西方の山地に埋葬し、一同で厄払いのつもりで酒を飲んで寝てしまった。数日たってその漁師の一人が熱病にかかり、つぎつぎと仲間が倒れていった。それを人々は「死人のたたりだ」と言い、盛んに加持祈禱を行ったが、病気は次第に新屋全町にひろがり手のつけようのない状態になったという。医療方法の不完全な当時のこと予防方法もなく、迷信にこたった町民は毎夕食後「はら貝」「太鼓」「かね」などを鳴らして「ほう、ほう」の掛け声も勇ましく、雄物川畔に殺到して疫病神を川向こうに追





第20回 みんな集まれ！雪と遊ぼう！！

あらや大川散歩道

雪まつり

みんなで、「未来への希望の火」を灯そう！
「あらや大川散歩道雪まつり」は、地域の連携と親睦を図る、冬のイベントとして毎年続けてきて20回目を迎えますが、その間、雪が少なかった、コロナ禍で中止になったりすることもありました。これらの苦難も地域の皆さんに支えられ乗り越えてくることができ、大変感謝申し上げます。
第20回の雪まつりのミニかまくらを皆さんと一緒に作り、「未来への希望の火」を灯したいと考えております。多くの皆さんの参加をお待ちしております。

2025年 1月25日(土) 13:00～

一部イベントや催物が主体



会場 新屋駅～新屋大川散歩道～秋田公立美術大学サークルプラザ 会場総長1km
本部：十條団地町内会館

子どもの遊び 13:00～ ゲーム各種
会場：美術大学グラウンド 景品はなくなり次第終了します。

13:00～ 出店場所：集いの広場(本部周辺) **有料** 出店台数は交渉中
「キッチンカー」がやってくる

15:30ころ～ 会場：集いの広場(本部周辺) **無料** むかし懐かしい、本格的な餅つきを体験してください。
餅つき大会&おしるこなどの振る舞い 参加自由

17:30～ 新屋の小正月行事 新屋南やまはげ会と新屋高校の皆さんが会場を練り歩きます。
「やまはげ」見参 参加交渉中!

別会場：秋田市新屋ガラス工房
ガラスキャンドル&ミニかまくら
点灯/16:30頃～終了/19:00頃

主催 あらや大川散歩道雪まつり実行委員会
下表町町内会・新屋駅前町町内会・大川町町内会・十條団地町内会・緑町町内会 および各町内こども会
協力 秋田公立美術大学・秋田公立美術大学附属高等学校・新屋南やまはげ会・秋田県立新屋高等学校・秋田市立秋田西中学校・秋田市新屋ガラス工房
百三段新屋会・ルーテル堂発幼稚園・新屋幼稚園・日新保育園
後援 新屋協賛会・新屋地区市民福祉推進協議会・新屋地区社会福祉協議会・新屋地区スポーツ協会・新屋地区民生委員児童委員協議会・新屋商店会・新屋婦人会・新屋街路灯組合・NPO法人松林・あらや

秋田公立美術大学サークルプラザ
雪と光の演出!
16:30頃点灯

ミニかまくら 散歩道を幻想的に彩る
光のファンタジーロード
ミニかまくら製作 16:30頃点灯
13:00スタート 終了予定 19:00頃
集合本部

